

令和 5 年度

第 3 回草津市子ども・子育て会議 会議録

■日時：令和 6 年 3 月 2 8 日（木） 1 4 時～1 5 時 2 5 分

■場所：草津市役所 2 階 特大会議室

■出席委員

神部委員、佐々木委員、土田委員、柳澤委員、宇野委員、奥野委員、柴田委員、中島委員
浅野委員、山崎委員、杉江委員、石井委員、神岡委員、左寄委員、薄田委員、保田委員

■欠席委員

八木委員、藤田委員、丸山委員、横江委員

■事務局

子ども未来部：黒川部長、荒川副部長、松尾副部長

子ども・若者政策課：中瀬課長、島川課長補佐、山岡係長

関係課：子ども家庭・若者課、幼児課、幼児施設課、子育て相談センター、
発達支援センター、家庭児童相談室、児童生徒支援課、生涯学習課、
人づくりのサポートセンター

■傍聴者：

なし

1. 開会

＜委員 20 名中 16 名の出席、事務局より開会を宣言＞

2. 挨拶

＜子ども未来部黒川部長より挨拶＞

【議事】

(1) 子ども・子育て支援法による特定教育・保育施設の「利用定員設定」について

○事務局＜資料1説明＞

○委員長

事務局からの説明について、委員の皆さまからご質問、あるいはご意見がございましたらよろしくお願いいたします。

○J委員

TAMランド野路こども園ですが、面積等の要件は満たしていच्छやと思うのですが、当初から一体化できたのではないかとも思います。分けていच्छやったのを一緒にされるというのは何か要因があったのか教えていただきたいです。

○事務局

TAMランド野路こども園は、もともとは地域が運営する認可外の保育所で3歳以上を受け入れていたという経過がございます。当時の保育園の条件を残しつつ、経営を受け継いだ法人がこども園化をされましたが、低年齢児の受け皿がなかったことから、小規模保育施設を別に新たにつくられました。数年がたち、より多くの子どもの受け入れを目指され、検討された結果、一体化をされるということになりました。

○委員長

他に何かないようでしたら、この議事に関しては終了いたします。

続いて、報告事項ということになります。まずは令和5年度子育てしやすいまちづくりアンケートの結果についてということで、事務局からご説明をお願いいたします。

【報告事項】

(1) 子育てしやすいまちづくりアンケートの結果について

○事務局＜資料2-1、2-2説明＞

○委員長

事務局からの説明について何かご質問、ご意見などがありましたらお願いいたします。

○E委員

子育てしやすいまちだと思ふ人の割合が下がった理由についてお考えがあれば教えてください。ただいてもよろしいですか。

○事務局

資料の最後の横棒グラフがございます。それぞれ令和4年度の未就学、令和5年度の未就学、令和4年度・小学生、令和5年度・小学生、令和4年度・中学生、令和5年度・中学生の順番で並べております。「そう思う」の帯グラフを見ていただきますと、令和4年度から5年度について減少していることが見ていただけると思います。

また、黄色の「どちらかといえばそう思わない」については、7.7%が9.5%、10%が11.8%、

9.7%が 15.5%と割合が大きくなっていますので、全体として「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が少なくなった状況です。

○E委員

数字が見込みよりも下がったことに対する考察はございますか。

○事務局

先ほどいくつか口頭でご説明申しあげました、自由記載の分析をこれからしていこうと思っております。それによつては最近の子育て世代の方たちがどういうことを望んでいて、それと市の施策の方がどれぐらい合致しているのかというのが見えてくると思っておりますので、今の段階では数字のみでの評価という形でお願いしたいと思います。

○E委員

承知しました。ありがとうございます。

○委員長

よろしいですか。他に小さなことでも結構ですので、お願いします。

○P委員

アンケートにも答えさせていただきましたが、親同士で話をしている中で今年度の10月から医療費の助成が高校3年生まで延長されたということが、まだこの段階では周知されていなかったのではないかと感じております。令和4年度ぐらいまでは中学生に入院助成はありましたが通院助成がなかったのも、他の市町村との違いを感じてしまうことが、よく親同士の間では話に出ていました。それが一気に他市に先んじて、とにかく高校3年生までとなり、みんながびっくりして助かるねという話になっているので、その点からいえば令和6年度は、この「どちらかといえばそう思わない」が減るのではないかと個人的には思います。

○事務局

今お話いただきました医療費の無償化ですが、アンケートを実施する時にはもう決まっていたのですが、時期が10月からということで、周知がまだ追いついていない状況だったかと思えます。アンケートの自由記載を見ましても、他市町であれば無償化になっているのというご意見もありましたので、ご意見いただきましたように来年度のアンケートではその部分が少し解消され、満足していただけるのではないかと考えております。

○K委員

アンケートの回収率について伺いたいです。他にもいろいろなアンケートを今年度されている中で、回収率がかなり低いという印象を持ちました。回収率について令和4年度の実績も18.6%だったのですが、原因があるのか、回収率をもう少し上げられる手立ては持っておられるのかというのと、この回収率でアンケートの結果にどこまで効力があるのかという点を疑問に思ったので、お考えを教えてください。

○事務局

令和3年度までは児童手当の現況届と一緒にアンケートを実施しておりました。令和4年度は現況届の提出が必要なくなるというお知らせに同封してアンケートを実施しました。

令和5年度については、子育て世帯生活応援商品券の発送の通知に合わせてQRコードの案内をお送りしまして、スマートフォン等からも可能な回答方式をとりました。回収率が少ないということですが、2,000件以上は返ってきている点はよかったと思っております、今後この方法で進めていくのか、またどういった方法で実施していくのかについては検討が必要と考えております。また何かよい案があれば、ご提案いただければ大変ありがたく思います。

○事務局

補足としてですが、今回スマートフォンを使つてのアンケート回収としましたが、前回委員からも、紙で回答しやすい人もいらっしゃるのではないかというご意見もいただきましたので、保健センター1階で実施されます乳児健診に職員が出向いて、声を掛けさせていただきながらの実施を合わせて進めました。お時間の余裕のある方はその場でスマートフォンを出して回答いただけたのですが、やはり健診で子どもさんが疲れていらっしゃる、なかなかその場でのお時間をいただくことができず、回収率に実際つながったかといわれると難しいところではありますが、そういう形で対面での機会も設けていきながら、アンケートの回収率向上につながるよう努めたところです。

○委員長

他にございますか。

○P委員

アンケートの令和3年度までは現況届と一緒に回収されていたという形ですが、そのときの回収率はどれくらいだったのかという点と中学校や小学校で「sigfy（シグフィー）」というアプリを使って学校に関係する書面をペーパーレスにしてくださっていたり、遅刻や欠席の連絡もそれを通じてできるように変わってから、簡単なアンケートもできるので、それなら保護者の方も慣れており操作しやすいかと思ったり、児童育成クラブとも連携していらっしゃる場所もあると思うので、こういったアンケートのフレームを使ったら答えやすいとは思いました。

○事務局

まず回収率の方ですが、令和3年度の実績は56.1%となっておりますので高い状況にはなっております。

アンケートの手法について、前回の会議で議論いただいたアンケートの内容については学校の方にご協力をいただいて進めさせていただきました。中学生のアンケートについては、市の教育委員会と連携の下でL-Gate（エルゲート）という児童が直接使っているタブレット内のアプリに配信いただき進めさせていただきました。今は保護者宛て、子ども宛てのアンケートが大変多いということを現場の先生にも聞きましたので、その辺り精査する必要はありますが、こどもまんなかという形で動いていくためには、当部だけで考えていてもなかなか広がりが出てこないと考えております。今後はできるだけ早い段階から一緒に協議を進めて、保護者の方が実際慣れている方法も取り入れながら、できるだけたくさんのご意見をいただけるように考えていきたいと思っております。

〇〇委員

移動手段や交通関係などについて、子育て世代の方は車に乗られる方や、自分で移動される方がほとんどとは思いますが、移動手段に不自由されている地域もあります。保護者の方が就労していらっしゃる方が多いと思うので、学校の放課後の施設や、子どもだけでの移動が安全で確実にできることなど、草津市の中で公共交通がより便利になって安全で子どもだけでも動きやすくなると、様々な活動への参加も増えて、子育てしやすいまちだなという思いがアンケートに反映されるのではないかと感じました。公共交通もなくなりはいけど本数が減り、働き方改革もあって運転手不足も問題になる中で、どんどん不便になっています。活動をするには移動が必然になってくるのに、普段移動するときに保護者の方は子育て中で大変に感じている方も多いだろうから、その辺が子育てしやすいまちと思うかどうかという結果に現れると思いました。今回アンケートになかったのならば、今後こういう項目も入れていくと傾向がわかるのではないかと感じました。

〇事務局

直接的に移動手段について聞いている項目はないですが、例えば問 10「草津市を居住地と選ばれた理由」に「通勤・通学に便利である」とか、「都市部に近い」、「買い物に便利である」など、間接的には聞いている状況です。このアンケート以外で市が取っているデータもあり、それをこの会でお示しするということはありませんが、いろんなところで市政に対してのアンケート調査も実施しておりますので、今、おっしゃっていただいたような視点で、ご紹介できるような内容がございましたら、今後紹介させていただきたいと考えております。

〇B委員

このアンケート結果を参考にしながら必要な支援や施策につなげていくことになるかと思うと、アンケート結果の見方には注意を払う必要があると思っています。今回の子育てしやすい、しづらいというアンケートの中で、家庭の経済状況についてという項目もあるため、経済状況によって、子育てしづらさには顕著な影響があるのではないかとの想定もあって、実際 10 何%という回答者と、答えなかった方のことを考えた場合に、もしかしたら毎日の生活をバタバタせざるを得ない状況の方ほど、アンケートに答えていないということも想像されます。

もしも経済状況や働き方によって回答率に差がある、就労が厳しくて、バタバタしていることを理由に回答してないのであれば、見え方は若干変わってくるのではないかなと思います。例えばひとり親世帯のうち今回回答された人は何%とか、共働き世帯が草津市にどれだけあって、そのうち回答された人は何%というようなことが分かって、そこに違いがあった場合、結果の見え方が変わって、それによって必要な支援とか、必要な施策の特徴やイメージが変わることがあるのではないかなと思って、結果の見え方については今のような視点、または場合によっては吟味ということが必要ではないかと感じました。

〇事務局

世帯の就労状況に応じた回答率というのは、世帯の就労状況のデータを持っていないた

め難しい部分がございます。ただ、先ほどから皆さんおっしゃっているように回収率が下がっているということは、ある一定問題視していかなければいけない部分だと思っております。国勢調査等で、例えば世帯数とか就労状況などが出ているかと思しますので、回答いただいている部分と照らし合わせていくというような検証は必要になってくると思います。ただ、同じ内容のアンケートではないので資料として公表させていただくことは難しいと思う部分ではありますが、おっしゃっていただいた見方というところも含めて、検討していきたいと思っております。

○E委員

アンケートの回収率の議論は前の会議からよく出ていますが、統計的には回収率より回収サンプル数の方が大事と思っていて、この 2,250 件というのは十分過ぎる結果かと思う一方、そもそも回収件数の目標とか、そういう設定というのは最初にあったのでしょうか。回収率を上げると言ったときの目的範囲というのが見えないため、その辺りがお聞きできればうれしいなと思っております。

○事務局

回収率は約 30%か 40%ぐらいを見込んでおります。これは市民意識調査等の市が実施している回収率も大体それぐらいを保っておりますところから、やはり同じように市が取らせていただくアンケートというのは、その目標数値を定めながら進めているところではございます。

○E委員

先ほど委員からお話があったように、草津市全体を対象として 3 割、4 割とであるというのは妥当かなと思いますが、一方でオンライン、対象者が例えば小さいお子さんが多い家庭となると当然、回収率は下がるだろうということで、同じ数字を使うのは若干違和感があります。下がったのが悪いというよりは、下がって然るべきなのかとか、そういう正当な考察があれば納得しやすいのかと思っております。無理に 3 割、4 割と、できない目標を掲げてても仕方がないと思しますので、その辺りにまた考察を入れていただけるとありがたいというのが意見です。また、あと回収率にこだわる理由や回収したサンプル数にこだわる理由が一般の方々には分からないと思います。どちらがこだわるべき数字なのか。回収率に固執するとどうしてもそこしか見なくなるので、その辺りの理論上というか、簡単なご説明というのがあってもよいのかなと思います。そうすることで市民の理解が深まると思いました。

○委員長

属性の傾向が一般の草津市民の傾向とどれだけ合っているのか、あるいは乖離しているのか、就労状況別でもこのパーセンテージが全体の草津市のパーセンテージとある程度同じ比率であれば、それを代表していると見ることができるし、逆にこの比率がここで回答いただいた方との差が非常に激しかった場合、それがこのデータがどの程度該当しているのかと、どこかでその辺りの確認をしておいていただきたいと思います。

それでは、1 つ目の報告項目は終了させていただいて、2 つ目の報告事項の（2）令和 6 年度子ども・子育て関係予算の概要について、事務局から説明をお願いします。

【報告事項】

(2) 令和6年度子ども・子育て関係予算の概要について

○事務局＜資料3説明＞

○委員長

説明について、ご質問、ご意見がありましたらよろしくお願いいたします。

○D委員

ここには書いていませんが、4月から、テストの採点とか丸付け、印刷やコピーであるとか、教材作成みたいなことをされるスクールサポーターの方が各学校へお見えになるということを知りました。

現場にこれでもかといろんなことを押し付けられて先生方は悲鳴を上げています。私の近くの学校では、2学期から行く先生の代わりが見つからなくて、フリーの先生が入れ替わり立ち替わり入られたと聞いています。クラスがたちまち荒れて、ある卒業した子の保護者からは図工の作品を持って帰ってきたけど、時間が足りず全部途中のまま持って帰ってきたと聞いたことがあります。

スクールサポーターの方は大体、各学校に何人ぐらい配置されるのか、分かる範囲で教えてください。基本的には教師不足です。うちの娘も市内の小学校に勤めていますけど毎晩、帰りは7時、休日出勤して、月間50時間以上働いても残業手当は付きません。現場の教師の負担軽減ということと、教師を増やすということ、いろんな形で会計年度任用職員を増やされる、免許のないスクールサポーターさんを増やしていただく、それに対しての功罪の部分も教えていただけたらと思います。

○事務局

子ども・子育て会議の方には教育委員会の現場のお話ができる担当の者がおりませんので、今のご質問に対してお答えすることはできないのですが、教育委員会の方でももちろん働き方を考えておられますので、そういった部分でいろいろな施策を考えながら進めていると思っています。今が必ずしもいいという状況で進めておられるわけではございませんので、いろんな改善や試みをしながら草津市だけではなく、全国的な働き方改革への機運の高まりを踏まえながら、教育の環境整備に努めておられるという点ぐらいしか今日はお答えすることができません。申し訳ございません。

○D委員

ここで申し上げるべきことではないとは思ったんですけど、すみません。

○委員長

他に何か予算に関わってご質問、ご意見があれば、お願いします。

○J委員

先ほどからアンケートの回収率等が話題になっていましたが、回収率を上げる手段として、アンケートで答えたことが予算に対してどのように反映されたかという辺りのことを

市民の方が感じられたら、こうやって答えたことがつながっているのだなということで、もう少し関心を持って、次は答えようという行動につながるのではないかと思います。その辺りの見せ方、これから考えていращやること等があれば教えていただきたいと思います。

○事務局

今年度からアンケートの結果の公開となっています。この会議で委員の皆さまからご意見をいただきまして、公開していくという形になっております。先ほど申し上げましたように自由記載のほうにいろいろなお考えやご要望を書いていただいております、医療費の無償化や給食費の無償化に対するご意見などもいただいておりますので、その辺りを掲載する際には令和6年度からこういう事業を実施しているなど、紐づけられるような形で公開をしていけたらと考えております。

○委員長

では、令和6年度草津市子ども・子育て会議のスケジュールについて説明をよろしく願います。

【報告事項】

(3) 令和6年度 草津市子ども・子育て会議のスケジュールについて

○事務局＜資料4説明＞

○委員長

来年度はかなり忙しく、計画策定ということ皆さんにお願いしたいことがたくさんありますが、今の説明に対して何か聞いておきたいことや、ご質問などがあればお願いします。

○B委員

スケジュール自体ではないですが、先ほどの未来を担う子ども育成プロジェクトと絡めてどうなのかということを確認めたくて聞かせていただきます。今後、草津市こども計画につないでいくということですが、計画を今後策定していく中で、未来を担う子ども育成プロジェクトとの関連や位置付け、最初に聞かせていただいた子育てしやすさ、しづらさというところ、プロジェクトに上がっていない視点でもやっぱり必要な施策ということがあろうと思うので、ごく一部がプロジェクトで上がっているのかなと想像するのですが、このこども計画とプロジェクトの関係や位置付けみたいなことで今分かっていることがあれば教えてください。

○事務局

資料3で説明しました未来を担う子ども育成プロジェクトは予算概要として総合計画と紐づいております。当然子ども以外の分野の中でも子どもと関連するプロジェクトを位置付けしております。こども計画の体系の中で、どうやってアウトプット部分の事業に紐づいていくかイメージをしながら進めていきたいと思っております。特に今回、資料3の7ページにある教育振興基本計画を教育委員会にて筆定されますので、計画上の整合を図っていくとい

うのが重要と考えております。今おっしゃったその他の関係する事業についても体系の中できちんとぶら下げるように整理をまいります。

○委員長

スケジュールだけではなくて今日の議題全体を通して何か疑問、あるいはご意見等々がございましたら、お話いただけたらとも思うのですがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、本日の議題についてはこれで全て終了ということになります。本日も皆さんからたくさんのご意見をいただきましてありがとうございました。これで議事を閉めさせていただきます。事務局の方へお返しします。

4. 閉会

【事務局】

皆さまありがとうございました。以上をもちまして第3回草津市子ども・子育て会議を終了させていただきたいと思います。来年度につきましては、先ほどスケジュールでもお示しましたけれども、「(仮称)草津市こども計画」の策定が中心になってくるかと思います。その中で現計画の第2期草津市子ども・子育て支援事業計画および草津市子ども・若者計画が最終年度となってきますので、そちらの方も併せて進捗確認をしていきたいと思っております。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。引き続き、任期満了までどうか皆さまよろしくお願いしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

以上